
**b アクセス Ver.2
使用説明書**

目次

はじめに.....	2
おことわり.....	2
動作環境.....	2
1. bアクセスの起動.....	3
2. bアクセスの使用方法.....	4
2-1 ダイアルアップ接続する.....	4
2-2 アクセラレーターの設定切り替えを行う.....	5
2-3 通信を最適化する方法.....	6
2-4 bモバイル通信カードの情報および電波状況の確認.....	7
2-5 bアクセスの設定を確認・変更する.....	8
2-6 その他の使用方法.....	9
■ウィンドウのサイズを変える.....	9
■HTTP1.1 への対応について.....	10

はじめに

b アクセス(以下、「本ソフトウェア」)は、b モバイルによる通信をより快適にご利用いただくためのソフトウェアです。

おことわり

本ソフトウェアは、本ソフトウェアに付属の使用許諾契約のもとでのみ使用することができます。

お客様が本ソフトウェアを使用したことにより、被ったいかなる直接的、間接的または、偶発的損害も賠償いたしかねますので、ご了承ください。

使用されているコンピュータのシステム構成他によっては正常に動作しなかったり、全く動作しない場合がありますのであらかじめご了承ください。

本ソフトウェアの一部または全部を無断で複製、販売、譲渡、ネットワークにより提供することを禁止します。

本ソフトウェアの仕様およびマニュアルに記載されている内容は、将来予告無しに変更することがあります。

本ソフトウェアを改造、変更すること、および本ソフトウェアの機能等に変更を加えることを目的としたプログラムを作成、使用、譲渡、貸出またはネットワークにより提供することを禁止します。

本ソフトウェアをリバースエンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アSEMBルすることを禁止します。

画面のキャプチャーの一部は実際の画面と異なることがあります。

動作環境

オペレーティングシステム : Windows 98 Second Edition / Windows Me / Windows 2000 / Windows XP

ブラウザ : Internet Explorer 5.5 SP2 / Internet Explorer 6.0

※b モバイル通信カード以外での動作保証はいたしかねますので、予めご了承ください。

※Windows 2000 / Windows XP の場合、ご利用には管理者権限が必要です。

- Windows / Internet Explorer は、米国 Microsoft Corp.の登録商標です。
- その他、商品名および製品名などは一般に各社の商標または登録商標です。

b アクセス Ver.2

使用説明書

Windows 98 SE / Windows Me

Windows 2000 / Windows XP

bアクセスはbモバイル通信カード専用のソフトウェアです。

bモバイル通信カード以外での動作保証はいたしかねますので、予めご了承ください。

ご利用の前に、あらかじめコンピュータにbモバイル通信カードのドライバをインストールし、コンピュータにbモバイル通信カードを認識させておく必要があります。

このbアクセスはWindows 2000 およびXPでご利用の場合管理者権限が必要です。

1. b アクセスの起動

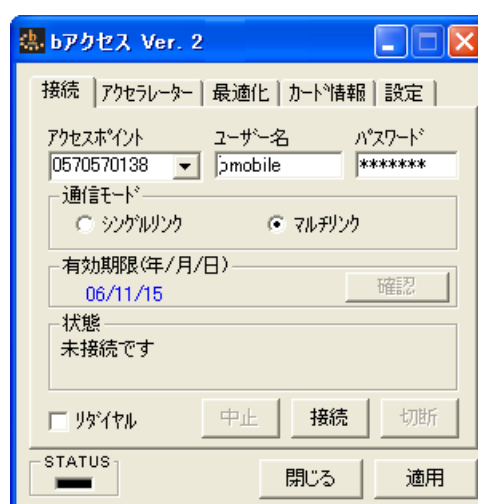
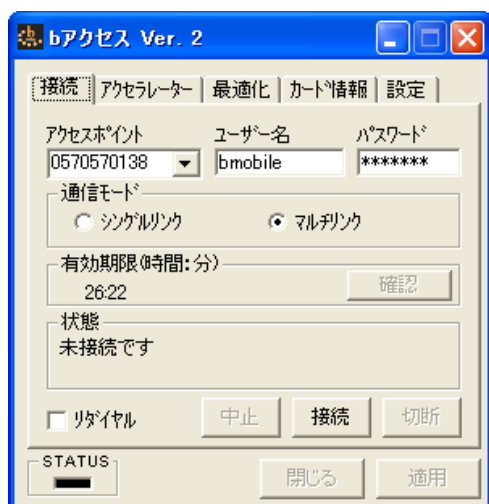
- ① デスクトップ画面の b アクセスのショートカットアイコンをダブルクリックします。



b アクセスのアイコン

bアクセス 2.

- ② ご使用のコンピュータのデスクトップ画面に操作ウィンドウが表示され、続いてダイヤルアップ接続を開始します。



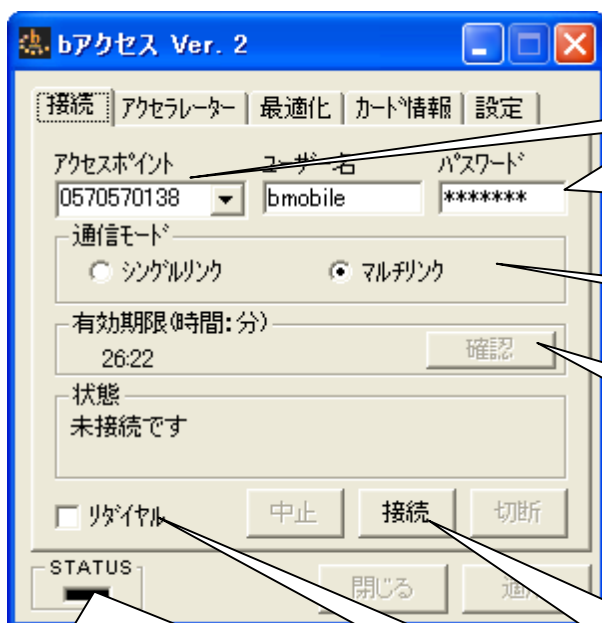
※ご利用の商品により、有効期限の表示が「時間:分」「年/月/日」の2種類になります。

標準の設定ではbアクセスの起動後すぐにダイヤルアップを開始し、標準に設定されているブラウザを起動します。起動時に自動でダイヤルアップを行わないようにするには[設定]タブの「bアクセスを起動したら自動的に[接続]する」のチェックをはずしてください。

2. b アクセスの使用方法

2-1 ダイヤルアップ接続する (接続タブ)

[接続]タブでダイヤルアップ接続・切断および接続設定をします。



アクセスポイントが表示されます。

ダイヤルアップ接続で保存されている「ユーザー名」「パスワード」が表示されます。変更も可能です。
(注1)

通信モードを「シングルリンク」方式と「マルチリンク」方式に切り替えができます。(注2)

ダイヤルアップ接続時に「確認」ボタンをクリックすると、ご利用のbモバイル通信カードの有効期限が表示されます。左図は、残り時間26時間22分を表しています。有効期限が最新の情報の時は、青色の文字で表示されます。

データカードの状態を表示します。

ダイヤルアップ確立後	→	緑
ダイヤルアップ中	→	橙
モデムが使われていない状態	→	黒
電波強度測定中	→	赤

ダイヤルアップの中止、接続、切断をします。

自動的にリダイヤルする場合、チェックします。

注1) ユーザー名とパスワードを変更して接続するには、bモバイルユーザー登録ページからご自身の認証用ユーザー名・パスワードを事前に変更しておく必要があります。なお、ご利用の商品によっては変更ができない場合があります。

注2) マルチリンクとは、理論値最高 32kbps(下り)の通信を提供するシングルリンク(電波1波)をベースに、電波状況や通信量によりシングルリンク(1波)からマルチリンク(4波)までを状況に応じて同時に利用する通信環境です。

※ Windows のダイヤルアップ接続アイコンから設定に変更を加えた場合、それらの設定はbアクセスには反映されません。

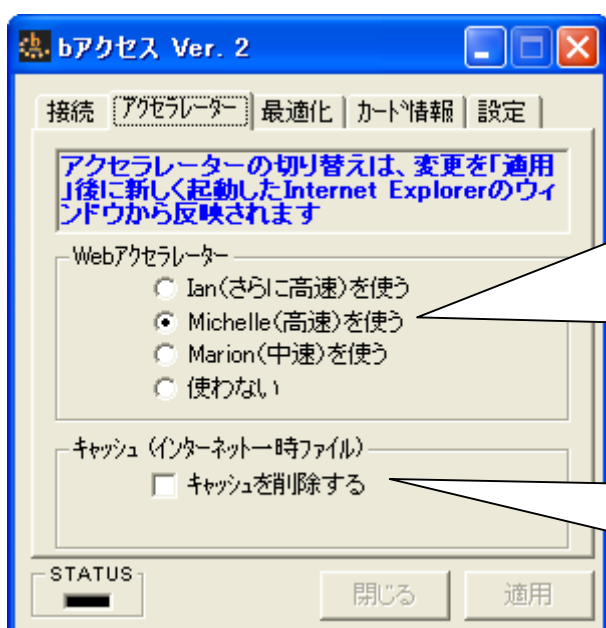
※ 同じモデムを使用するダイヤルアップ接続が複数ある場合は、接続済みのダイヤルアップ接続を切断してからもう一方のダイヤルアップ接続で接続してください。

※ ユーザー名、パスワード、通信モードの項目は「適用」ボタンを押すと保存されます。

2-2 アクセラレーターの設定切り替えを行う（アクセラレータタブ）

[アクセラレーター]タブで、Web アクセラレーターの切り替え、キャッシュファイルの削除（インターネット一時ファイルの削除）を行うことができます。

Web アクセラレーターとは、ブラウザで表示されるデータをモバイルインターネット接続向けに調整し高速なブラウジングを実現するための機能です。グラフィックファイルなどで画質の粗れが気になる場合にはより高画質の[Marion]をご利用ください。また、テキスト中心のブラウジングであれば、[Ian]を利用することでより高速なブラウジングが可能です。



アクセラレーターの種類を選択します。変更後、「適用」ボタンをクリックして Internet Explorer に設定を反映させます。切り替え後に新たに起動した Internet Explorer ウィンドウから有効となります。またアクセラレーターを切り替えた後には、キャッシュの削除を行わないと新しく選択したアクセラレーターが反映されない場合があります。

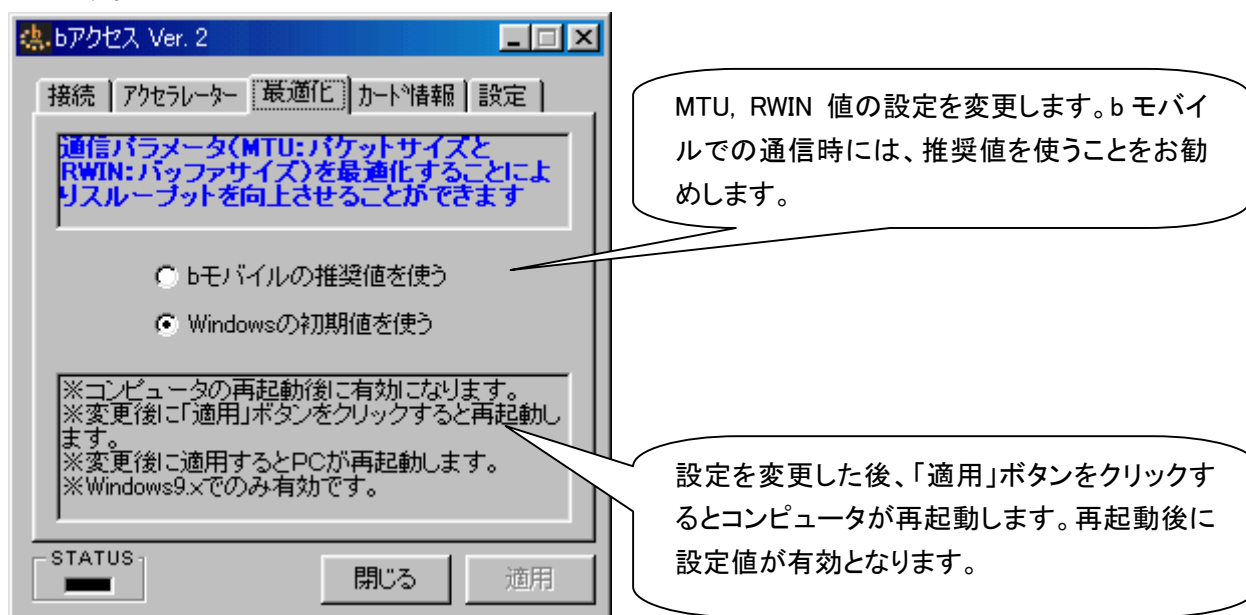
キャッシュファイルを削除する場合、チェックし「適用」ボタンをクリックすると実行されます。（インターネット一時ファイルのフォルダの中身をすべて削除します。）

- ※ b アクセス以外でアクセラレーターの設定を行った場合、実際のアクセラレーターの設定が正しく反映されない場合があります。
- ※ この機能でアクセラレーターの設定を切り替えると、HTTP 以外で設定していたプロキシサーバーの情報や例外の設定情報は失われますのでご注意ください。

2-3 通信を最適化する方法（最適化タブ）

※この機能は Windows 98 Second Edition, Windows Me のみで利用可能です。

最適化タブでコンピュータの通信条件(RWINとMTU)の設定値を変更することができます。MTU / RWIN の設定を初期値から推奨値に変更することによって b モバイルでの通信効率が向上します。

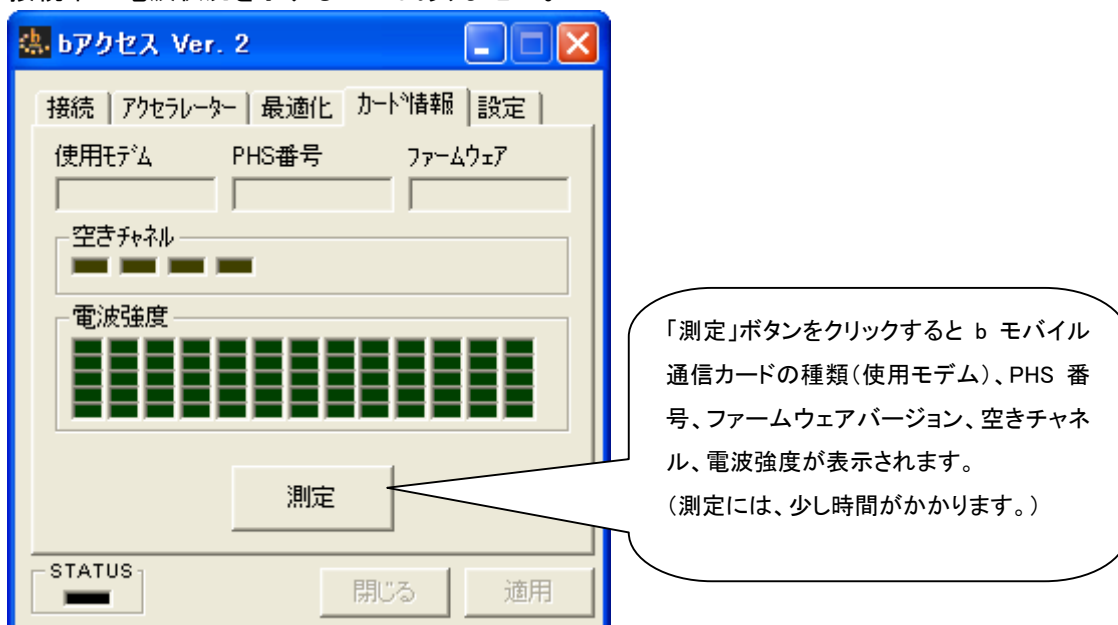


※ Windows 2000, Windows XP では MTU / RWIN の設定は行えません。

2-4 bモバイル通信カードの情報および電波状況の確認（カード情報タブ）

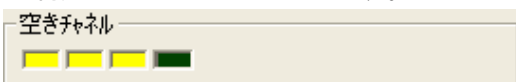
[カード情報]タブでbモバイル通信カードの情報の確認や、周囲の電波状況の測定ができます。ダイヤルアップ接続中は測定できません。接続中の場合、切断すると「測定」ボタンがクリック可能となり測定ができます。

電波状況は測定場所、測定時間によって異なります。表示は測定した時点の結果を示すもので、接続中の電波状況を示すものではありません。



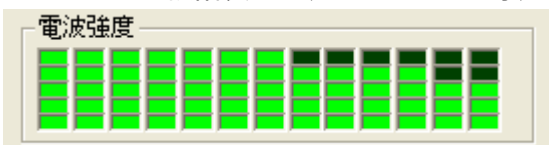
■ 空きチャネル

測定した時点での基地局と接続が可能な通信リンクの数を黄色のランプで表示します。最大は4です。下記のように表示される場合には、空きチャネルが3であり、マルチリンクのフルスペックでは利用できないこと示しています。



■ 電波強度

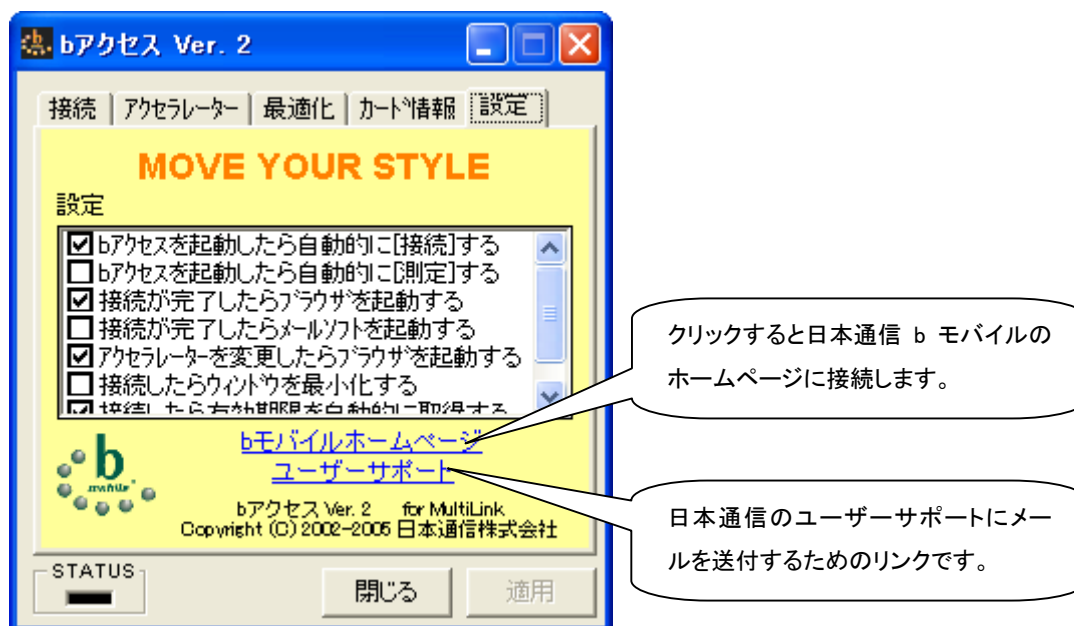
b モバイル通信カードから感知できる基地局の数と、それぞれの基地局の通信カードに到達した電波の強度を緑色のランプで表示します。ゲージの横方向は基地局の数を、縦方向はそれぞれの電波の強さを示します。下記の表示の場合、電波を受信した基地局が 13 局あり、それぞれのレベルは 5 段階表示で、レベル 5 が 7 局、レベル 4 が 4 局、レベル 3 が 2 局です。



2-5 bアクセスの設定を確認・変更する（設定タブ）

[設定]タブでbアクセスの設定の確認、変更が行えます。

設定の変更は、各項目のチェックボックスで行うことができます。（チェックの入った項目がON）変更後「適用」ボタンをクリックすると、変更が反映されます。



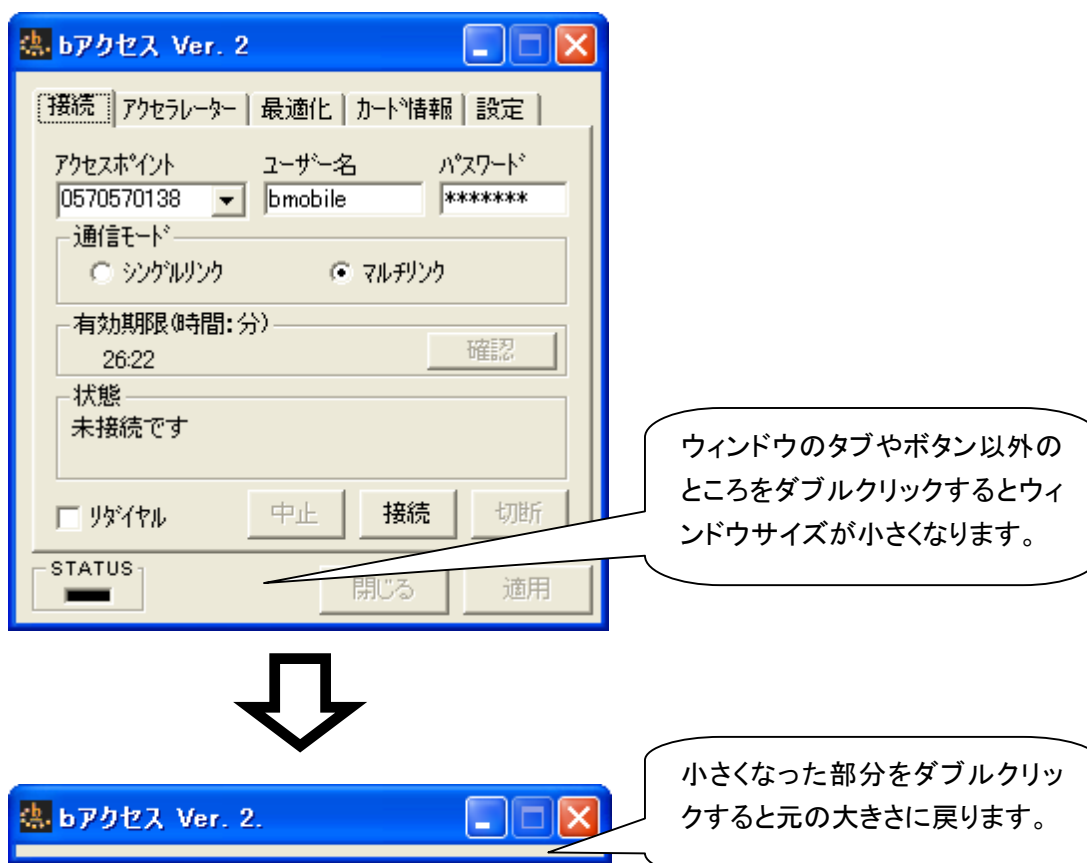
<設定項目>

- (1) **bアクセスを起動したら自動的に[接続]する**（初期設定：ON）
起動してすぐにダイヤルアップを開始します。
(2)「起動したら自動的に「測定」する」が【ON】の場合、測定後に接続を開始します。
- (2) **bアクセスを起動したら自動的に「測定」する**（初期設定：OFF）
起動してすぐに電波強度測定をします。
- (3) **接続が完了したらブラウザを起動する**（初期設定：ON）
ダイヤルアップ完了後「標準で使用しているブラウザ」を起動します。
- (4) **接続が完了したらメールソフトを起動する**（初期設定：OFF）
ダイヤルアップ完了後「標準で使用しているメールソフト」を起動します。
- (5) **アクセラレーターを変更したらブラウザを起動する**（初期設定：ON）
アクセラレーターの变更后「適用」ボタンを押すとブラウザが新たに起動します。
- (6) **接続されたらウィンドウを最小化する**（初期設定：OFF）
ダイヤルアップ完了後 b アクセスをタスクバーへ隠します。
- (7) **接続されたら、有効期限を自動的に取得する**。（初期設定：ON）
ダイヤルアップ完了後、有効期限を取得します。

2-6 その他の使用方法

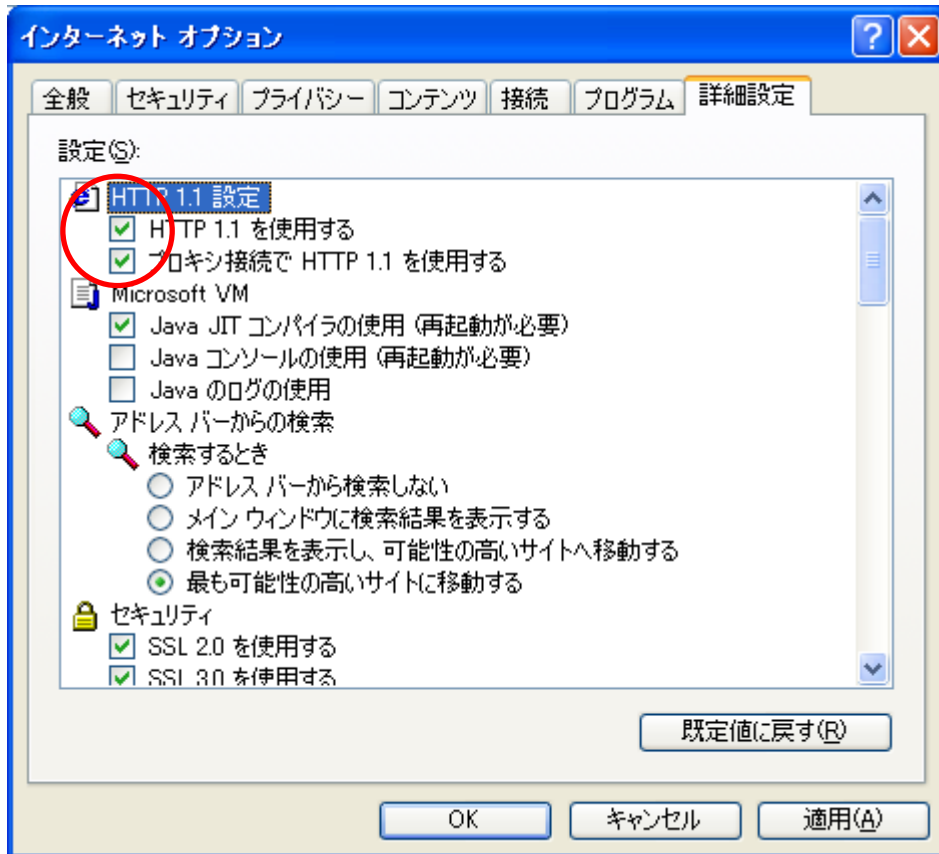
■ウィンドウのサイズを変える

ウィンドウのタブやボタン以外のところをダブルクリックするとウィンドウサイズが小さくなります。小さくなったウィンドウの中をダブルクリックすると元の大きさに戻ります。



■HTTP1.1 への対応について

Internet Explorer をご利用の場合 b アクセスを起動すると効率的な通信が行えるよう HTTP1.1 という転送規格を使用する機能を有効にします。



なお、この設定は b アクセスの起動時に設定されます。

通常は問題ありませんが、ウェブページで表示が正しくおこなわれない場合にはインターネットオプションの設定を変更することで回避してください。

HTTP1.1 設定の解除方法

1. Internet Explorer のメニューから[ツール]－[インターネット オプション]を選択します。
2. [詳細設定]タブを選択し、「HTTP 1.1 設定」項目の「HTTP 1.1 を使用する」および「プロキシ接続で HTTP1.1 を使用する」のチェックを外します。
3. 「適用」ボタンをクリックし、[OK]をクリックして設定変更を終了します。

ManualVersion -070214